

三鴨小だより

学校教育目標
やさしい子 かしい子 たくましい子

第22号

発行日 令和元年11月14日
発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

持久走大会で（私だって昔は...）

岡先生の係は道路審判で、その場所は選手が校庭から道路に出るすぐの、校舎北東角でした。しかも、最終走者と西門まで自転車で並走するという、かなりの体力を必要とする係でした。道路を使用するのは中学年と高学年の男女ですから、合計すると4レース。その全てに並走させるなんて、体育主任の河内先生の悪意さえ感じられます。校庭内で行われる低学年のレースが終わり、いよいよ道路を使ったレースが始まりました。まずは中学年女子です。最終走者が校庭に入ってきたとき、岡先生はしっかりと並走していました。ところが、自転車ではなく自分の足で走っていました。これにはビックリ。しかも、長身の岡先生の登場は遠くからでもよく分かり、すかさず実況担当の6年生の「あ！最後の選手がやって来ました！これで全員無事に校庭に戻ってきました！」という見事なアナウンスに繋がりました。岡先生、なかなかいい仕事してるじゃん.....ところが、次のレースも、その次のレースも.....結局4レースの全てを自分の足で走り切ってしまったのです。その体力、うらやましい限りです。ちなみにその日のロング昼休み、岡先生は涼しい顔をして子供たちと一緒に元気にドッジボールをしていました。

秋の行事に？

毎年10月31日はハロウィンです。もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのある行事であったそうですが、私にはまるでなじみがありません。しかし、世間ではクリスマス並みの行事になりつつあるのでしょうか？本校でも矢部先生とALTのライアンがハロウィン体験を計画してくれました。外国語活動の時間にイングリッシュルームに移動した子供たちは、まずはたくさん帽子や仮面の中から一つを選び、簡単に仮装します。次に、中にライアンが入っているミニチュアハウスをノックします。そしてドアを開けて顔をのぞかせたライアンに向かって「ハッピーハロウィン！トリック オア トリート！」。これは「お菓子をくれ。さもないと、いたずらするぞ！」といった意味合いでしょうか？うまく話せた子（もちろん全員

です！）には、ライアンからチョコレートのお菓子が手渡されました。子供たちは満面の笑みです。仮装大会（？）のように報道されていますが、子供たちはハロウィンをどのように受け止めているのでしょうか？「お菓子をもらえる日」ってところでしょうか？どうか大人になったら「ニコニコしながらお菓子をあげる人」になってくれますように！みんな、わざわざ変装して渋谷を練り歩かなくてもいいからね！

必見！

本校のホームページでも紹介されているとおり、持久走大会が終了するとすぐに、給食配膳室隣のディスプレイが「みかもっ子フェスティバル」仕様になりました。図書館事務員の阿部さんの機を逸することのない計らいです。西門から登校してくる子供たちが毎日のように立ち止まる毎月の行事予定表も阿部さんの作品です。ありがたいですよ。それに加えて、現在は職員玄関付近にやや大きめのクリスマスリースが飾られています。もちろん、制作者は阿部さんなのですが、なんと、生きた花と観葉植物の寄せ植えなんです！これにはビックリ。初めて見ました。観葉植物の緑をベースにしてミニクラメンが赤い彩りを添え、見事なクリスマスカラーになっているんです。阿部さん、器用なんですね。みなさん、御来校の際はぜひ職員玄関まで足をお運びください。子供たちもぜひ見てね！

自慢

みかもっこフェスティバル後の本校職員の反省を抜粋します。「1年生の『くじらぐも』はミュージカルを見ているよう。」「2年生の発表は地域の方々の御協力を見事に紹介してくれてありがたい。」「3年生の発表の仕方はタイムラグを消すいい方法で大変参考になる。」「4年生は短時間の準備でよくあれだけの発表ができた。」「前日準備の5年生、何も言わなくても、ほうき、雑巾と、すごくきれいに掃除してくれた。」「6年生は提案型発表ですごい。日々の努力の積み重ねと成長を感じた。」.....素直に他の学年をリスペクトできる本校職員、なかなかいいでしょ？